

壁紙施工要領書  
- ウレタン吸音材 -

【該当品番】  
(2023-2026WILL)  
LWT-839

■特長

- ・難燃性ポリウレタンフォームの表面に、塩ビフィルムを貼り合わせた壁、天井用の吸音材です。ポリウレタンフォームは極小の連続した気泡でできた多孔質のシートで通気性があり、大きな吸音効果を持っています。軽量であることも特長的です。
- ・非防火商品です。

■下地の選択

- ・平滑な下地であればベニヤ、石膏ボード、モルタル、プリント合板等いずれでも施工可能です。ただし、モルタルは、金ゴテ仕上げで必ずシーラーがけを、ベニヤは、ジョイント部分に注意するようにしてください。

■裁断

- ・巻き癖が残ったまま施工しますと、ジョイントや小口がうまく納まらない場合がありますので、裁断前に材料を逆巻きにするなどして巻き癖を取るようにしてください。
- ・検尺後、施工面に合わせてウレタン吸音材を裁断します。**裁断は塩ビフィルムのない裏面から、表に向かってカットします。**(カッターよりも、経師用の包丁を使った方が、垂直に裁断でき蛇行もありません。)

■接着剤

石膏ボード、一般のベニヤ、シーラー処理済みのモルタル下地では、接着剤はでん粉糊：エチレン酢ビ系ボンド：水＝5：3：2の配合率を守ってください。  
天井部へ施工する場合は、同じく5：4：1の配合率にしてください。また、金属下地の場合は、エチレン酢ビ系ボンド100%にしてください。

【壁紙施工要領書 - ウレタン吸音材 -】

- ・化粧ベニヤ板、シナベニヤ、プリント合板、スチールパーテーションに施工する場合
- ・は、生ボンド（原液）のみの使用にしてください。（速乾ボンドは、貼り起こしがきかないため使用しないでください。）

## ■施工

- ・接着剤を下地側に塗布する向こう糊施工です。接着剤は前述の配合で、刷毛、ローラーを使用して施工面全面に多めに塗布します。次いで、あらかじめ裁断しておいたウレタン吸音材を、手のひらでやさしく撫でるように押さえてください。強く押さえるとウレタン部分が接着材を吸い込んでうまく接着しなくなります。  
壁面は天井面から下に向かって張っていきませんが、商品が幾分伸びますので、はみ出した部分はハサミでカットしてください。
- ・梁や柱のコーナーは、小口を出さないように巻いてください。コンセントは張りあげた後にハサミでカットします。
- ・天井は、まず材料を逆巻きしてクセをとり、下地に接着剤塗布後、転がす要領で、端から手で軽く押さえながら張っていきます。極端に強く押さえると、接着剤がウレタンに含浸し、接着力が落ちてしまうので、撫で残しがない程度にした方が無難です。  
（天井は刷毛を使用してください。）  
また、仮止めのためカルコ（大きなピン）などをご使用ください。

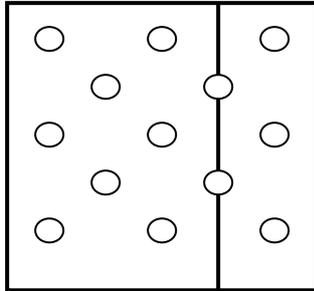
## ■ジョイント

ウレタン吸音材用のジョイナーをご使用ください。コーナー用の「コ」型、ジョイント用の「H」型の二種類があります。

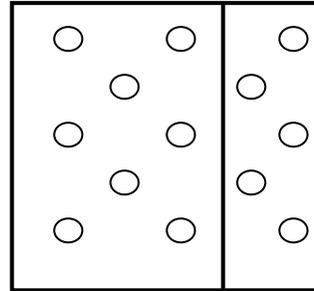
種類	サイズ (mm)	長さ
H型ジョイナー（白）	9 10  16.5	1.82m
コ型ジョイナー（白）	6 10  13	1.82m

- ・ジョイナーは墨出しをし、天井面、巾木上、ドア廻り、壁面ジョイント等に合成ゴム系接着剤または両面テープで貼り付けます。
- ・突き付け施工の際よりも商品を幾分短く裁断し、小口をジョイナーに押し込むようにして張り合わせます。  
（ジョイナー内側は、接着剤をつけなくても施工できます。）

※ジョイナー使用時は穴の目に合わせてカット、突き付け施工の際は、穴の間でカットするようにしてください。(壁、天井の取り合いは突き付けで納めるようにしてください。)



ジョイナー使用のカット  
(カットがしやすい)



突き付け施工のカット  
(ジョイントが目立たない)